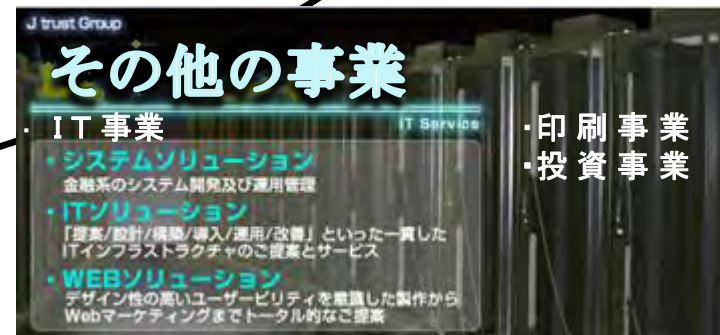
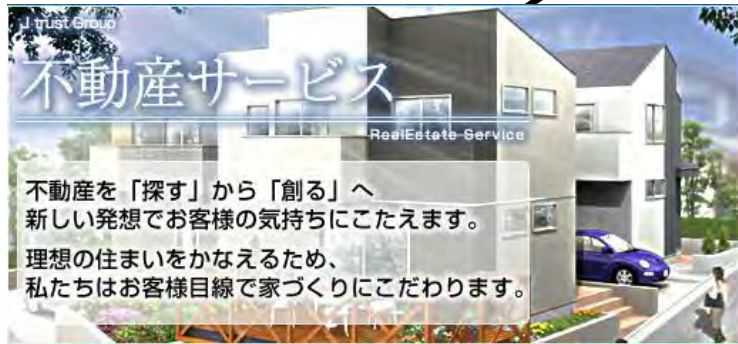


補足説明資料



Jトラスト株式会社

■当社グループの主な取り組みについて

事業再編 M&A

- 親愛貯蓄銀行における韓国の(株)エイチケー貯蓄銀行からの貸付債権譲受
平成25年5月に、親愛貯蓄銀行と(株)エイチケー貯蓄銀行との間で消費者信用貸付債権の譲受に係る資産譲渡契約を締結し、平成25年6月に債権譲受けを実施(譲受債権額 約1,735億ウォン(約153億円、1ウォン=約0.0883円で算出))。今後、新たに取得した顧客のニーズに幅広く応えていくとともに、事業の拡大、収益力の強化に繋げていく。
- アドアーズにおける組織効率化に向けた事業再編の実施
 - ・平成25年3月にアドアーズを完全親会社、キーノート、ブレイクを完全子会社とする株式交換を実施しており、事業の集約による経営の効率化の一環として、建築・不動産事業を強化するために、平成25年6月、アドアーズが営む設計・施工事業(主にパチンコ遊技場その他各種商業施設の開発・設計・施工事業)を、子会社のキーノートに移管。物件開発力やデザイン力の向上、規模の拡大によるコストの削減、さらには住宅・商業施設ともに対応可能な体制の構築に向けて、ワンストップで行うことができる組織体制へ移行。

強化

- ライツ・オファリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)による資金調達の実施
 - ・平成25年5月、当社グループにおける今後の債権買取りやM&A等に係る資金、並びに親愛貯蓄銀行への追加出資等に充当するためライツ・オファリングによる資金調達を決議、平成25年5月30日時点の株主に対して新株予約権を無償で割当て、株主が新株予約権を行使することによって、総額約976億円の払込を受けました。これにより、

自己資本(連結)は、平成25年6月末の65,825百万円から97,683百万円増加し163,508百万円(概算)、
自己資本比率(連結)は、平成25年6月末の28.6%から21.3%増加し49.9%(概算)となりました。
現時点において十分な手元流動性を確保し、資本基盤の整備ができたことにより、今後、時代に即応した新しいビジネスを展開していくことが可能となり、ひいては将来の利益成長並びに企業価値の向上に繋がるものと考えます。
- KCカードにおけるクレジットカード事業の強化
 - ・平成25年5月、「点でうれしいプレゼントポイント」を『Amazonギフト券』に交換できるサービスを開始。
 - ・平成25年6月、カードローン「KCマネーカード」をリニューアルし、平成25年6月27日以降の新規入会者を対象に金利設定、ご利用可能枠の上限を変更。お客様のニーズに誠実にお応えし、今後もより一層のサービスの向上に努めるとともに、クレジットカードの利便性を高め、会員数の増加に繋げる。

平成26年3月期 第1四半期 連結決算概要

■連結業績(累計)の前期比較

単位:百万円

	平成24年6月 (累計)		平成25年6月 (累計)		前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	9,867	100.0	14,545	100.0	4,677	47.4	営業貸付金及び割賦立替金の回収がやや低調に推移したことにより、貸付金利息が5.5億円、その他の金融収益が9.9億円、割賦立替手数料が7.5億円とそれぞれ減少したものの、アドアーズ、ブレイクの連結子会社化によりアミューズメント事業売上高を42.2億円、完成工事高(設計・施工)を4.9億円計上したこと、さらに親愛貯蓄銀行の営業開始により銀行業における営業収益を24.3億円計上したことにより増加
営業費用	1,689	17.1	6,103	42.0	4,413	261.2	アミューズメント事業売上原価を35.0億円、完成工事原価(設計・施工)を4.1億円、銀行業における営業費用を9.2億円計上したため増加
営業総利益	8,178	82.9	8,441	58.0	263	3.2	
販管費	4,138	41.9	6,216	42.7	2,077	50.2	事業規模の拡大に伴い人件費が7.5億円、その他経費が8.7億円増加したうえ、利息返還損失引当金繰入額は減少したものの、親愛貯蓄銀行において貸倒引当金を積み増したことから貸倒関係費が4.4億円増加したため増加
営業利益	4,039	40.9	2,225	15.3	▲ 1,814	▲ 44.9	
経常利益	3,870	39.2	2,262	15.6	▲ 1,608	▲ 41.6	受取配当金が1.3億円、韓国投資に伴う為替差損益が純額で2.5億円の差益とそれぞれ増加したものの、営業利益が18.1億円減少したうえ、ライツオフアリングに係る株式交付費の計上により1.6億円減少したため減少
当期純利益	3,991	40.4	2,005	13.8	▲ 1,985	▲ 49.8	経常利益が16.0億円減少したうえ、法人税、住民税及び事業税の増加により1.3億円、少数株主利益の増加により1.5億円減少したため減少

平成26年3月期 第1四半期連結決算概要

■事業の種類別セグメントの営業収益及び営業利益(連結・累計)の前期比較

単位:百万円

		平成24年6月 (累計)	平成25年6月 (累計)	前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
金融事業	営業収益	8,318	6,298	▲ 2,019	▲ 24.3	営業貸付金及び割賦立替金の回収がやや低調に推移したことにより、貸付金利息、割賦立替手数料、その他の金融収益及び償却債権取立益が減少したため減少
	営業利益	4,040	2,357	▲ 1,682	▲ 41.6	
不動産事業	営業収益	1,093	708	▲ 384	▲ 35.2	不動産取引市況が徐々に持ち直してきている一方、供給過多な状況も出始めている中で、適正な在庫水準の確保・管理に努め粗利率は改善しているものの、競争の激化等により不動産事業売上高がやや低調に推移したため減少
	営業利益	54	23	▲ 31	▲ 56.9	
アミューズメント事業	営業収益	—	4,244	—	—	前第2四半期連結累計期間から連結対象としているアドアーズ及びブレイクのアミューズメント関連の売上を計上したことによる増加
	営業利益	—	294	—	—	
海外事業	営業収益	420	2,688	2,267	539.4	親愛貯蓄銀行の営業開始による銀行業における営業収益の計上により増加したものの、貸倒引当金を積み増したことで等により営業損失となったもの
	営業利益	54	▲ 31	▲ 85	—	
その他の事業	営業収益	205	889	684	333.5	前第2四半期連結累計期間から連結対象としているアドアーズの設計・施工関連の売上、及び同じくエーエーディの印刷事業売上を計上したこと等による増加
	営業利益	8	28	20	227.4	
計	営業収益	10,037	14,830	4,792	47.7	
	営業利益	4,158	2,674	▲ 1,484	▲ 35.7	
消去又は 全社	営業収益	▲ 169	▲ 285	▲ 115	—	前第2四半期連結累計期間から連結対象としているアドアーズ及びエーエーディとのセグメント間の取引(アミューズメント事業及びその他の事業と金融事業間)が増加したことによる減少
	営業利益	▲ 118	▲ 448	▲ 330	—	
連結	営業収益	9,867	14,545	4,677	47.4	
	営業利益	4,039	2,225	▲ 1,814	▲ 44.9	

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

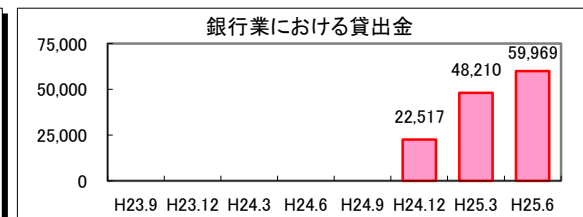
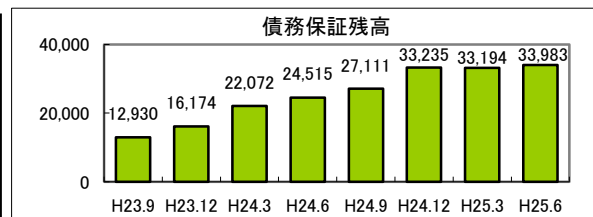
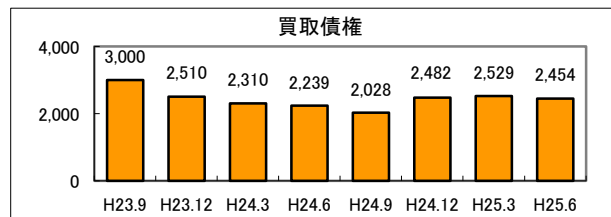
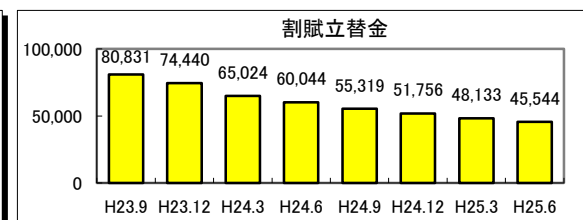
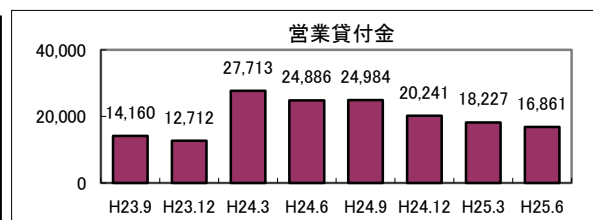
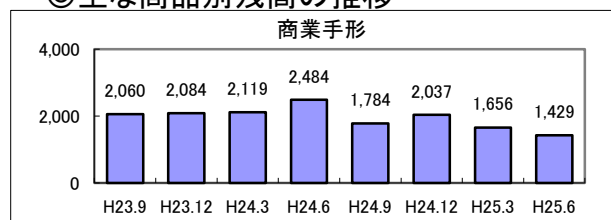
主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■商品別残高

単位:百万円

	H23.9	H23.12	H24.3	H24.6	H24.9	H24.12	H25.3	H25.6
商業手形	2,060	2,084	2,119	2,484	1,784	2,037	1,656	1,429
営業貸付金	14,160	12,712	27,713	24,886	24,984	20,241	18,227	16,861
銀行業における貸出金	—	—	—	—	—	22,517	48,210	59,969
割賦立替金	80,831	74,440	65,024	60,044	55,319	51,756	48,133	45,544
買取債権	3,000	2,510	2,310	2,239	2,028	2,482	2,529	2,454
長期営業債権	10,437	9,779	8,487	7,548	6,603	5,837	4,686	4,153
債務保証残高	12,930	16,174	22,072	24,515	27,111	33,235	33,194	33,983

◎主な商品別残高の推移



コメント

- ① 商業手形については手形の流通量の減少等を背景として、残高は減少傾向にあります。
- ② 営業貸付金についてはH24.3に武富士の消費者金融事業を日本保証(旧ロプロ)が承継したことにより増加しましたが、回収が順調に進んだ結果、残高は減少傾向にあります。
- ③ 割賦立替金については、H23.8にKCカードを連結子会社としたことで大幅に増加しましたが、直近ではリスク軽減を目的とする残高構成の入れ替え方針により、ショッピング残高はほぼ残高の維持で推移しておりますが、キャッシング残高は減少しており、合計残高は減少傾向にあります。
- ④ 買取債権については、回収が進んだ結果、減少傾向にありましたが、新たな債権の買取を積極的行った結果、H24.12期以降は、ほぼ横ばいで推移しております。
- ⑤ 債務保証残高については、西京銀行及び東京スター銀行の貸付に対する債務保証を中心として、また、新たに他の地域金融機関との保証業務提携を拡大していくこと等により、債務保証残高の積み上げを図っているため、増加しております。
- ⑥ 銀行業における貸出金は、韓国において親愛貯蓄銀行が(株)未来貯蓄銀行から引き継いだ一部資産や、(株)ソロモン貯蓄銀行や(株)エイチケー貯蓄銀行からの譲渡を受け増加しております。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■貸倒引当金等

単位:百万円

◎貸倒引当金

	H23.9	H23.12	H24.3	H24.6	H24.9	H24.12	H25.3	H25.6
不良債権残高(a)	5,244	4,930	8,070	7,739	7,828	14,361	15,387	17,679
貸倒引当金(b)	2,611	2,828	2,608	2,862	3,088	9,400	9,195	10,838
不良債権残高に対する引当率 (b)/(a)	49.8%	57.4%	32.3%	37.0%	39.5%	65.5%	59.8%	61.3%
割賦立替金に対する貸倒引当金	13,933	13,005	11,928	10,458	8,859	6,981	5,861	5,085
その他の貸倒引当金	—	—	—	—	214	999	986	934

※ 担保又は保証が付されている債権については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒引当金を算定しております。また、その他の貸倒引当金は買取債権、求償権、会員権、投資その他の資産等に対して引当を行っているものです。

◎利息返還損失引当金

利息返還損失引当金	5,177	4,655	4,150	3,932	9,514	8,856	8,438	8,145
割賦立替金に対する利息返還損失引当金	17,629	16,615	15,733	13,935	12,415	11,727	10,738	9,304

◎債務保証損失引当金

債務保証残高(c)	12,930	16,174	22,072	24,515	27,111	33,235	33,194	33,983
うち 有担保	8,076	10,696	12,457	13,961	15,478	16,600	16,735	17,689
うち 無担保	4,854	5,478	9,614	10,553	11,632	16,634	16,458	16,293
債務保証損失引当金(d)	180	178	290	286	361	459	590	524
債務保証残高に対する引当率 (d)/(c)	1.4%	1.1%	1.3%	1.2%	1.3%	1.4%	1.8%	1.5%
その他子会社が負っている偶発債務に対する引当金	—	—	—	—	2,869	3,335	3,427	3,513

コメント

不良債権残高に対する引当率はH24.3期に減少していますが、これは武富士債権の承継時に、回収不能額を引当金と直接減額し承継したため貸倒リスクの少ない債権が増加したためであります。また、H24.12期以降、高い水準で推移していますが、韓国の親愛貯蓄銀行における(株)未来貯蓄銀行の一部資産の承継や、(株)ソロモン貯蓄銀行からの債権譲受けにより、リスクに見合った引当金を計上したことにより大幅に増加したものです。

また、H23.9期にKCカードを連結子会社にしたことにより、債権の貸倒れによる損失に備えるため、割賦立替金に対する貸倒引当金及び利息返還損失引当金を計上しており、割賦立替金残高の減少に比例し減少しております。

債務保証損失引当金について、保証業務提携先の拡大に伴い、提携金融機関の無担保貸付に対する債務保証の割合が高くなっております。当該債務保証は、有担保貸付に対する債務保証に比べリスク負担率が高く引当されているため引当率は増加傾向にありましたが、H25.6期は有担保貸付に対する債務保証の割合が高くなっているため、減少しております。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

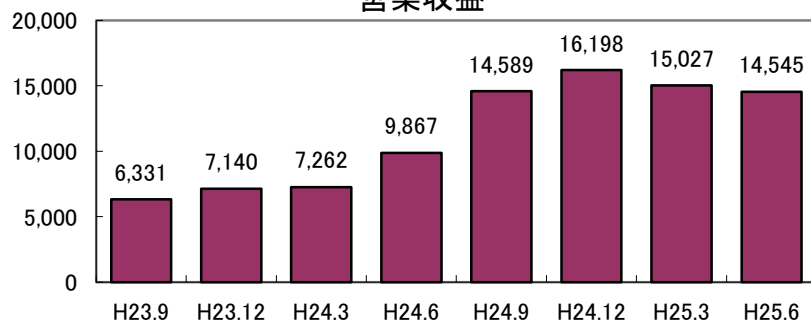
■営業収益

単位:百万円

	H24.3期				H25.3期					H26.3期
	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12	H25.3	累計	H25.6
受取割引料	52	50	50	204	52	49	42	45	190	36
貸付金利息	948	906	835	3,639	1,444	1,414	1,285	978	5,123	892
買取債権回収高	511	698	627	2,740	530	571	593	708	2,403	616
割賦立替手数料	2,514	3,539	3,094	9,236	2,800	2,597	2,440	2,177	10,016	2,046
保証料収入	167	196	291	801	359	418	431	543	1,751	546
その他の金融収益	928	774	654	3,358	1,707	1,492	2,751	917	6,868	708
償却債権取立益	122	133	193	536	1,359	1,768	1,843	1,663	6,634	1,247
不動産事業売上高	765	410	1,089	2,645	1,090	824	1,064	1,305	4,285	703
アミューズメント事業売上高※						4,654	4,475	4,354	13,484	4,222
完成工事高(設計・施工)※						124	655	559	1,339	490
銀行業における営業収益※								1,222	1,222	2,431
その他	320	430	425	1,346	521	674	616	551	2,364	601
営業収益	6,331	7,140	7,262	24,508	9,867	14,589	16,198	15,027	55,683	14,545

※H24.7からアドアーズ及びブレイクの損益を連結したことにより、H24.9からアミューズメント事業売上高及び完成工事高(設計・施工)を、H24.10に親愛貯蓄銀行が貯蓄銀行業を開始したことにより、H25.3から銀行業における営業収益を別掲しております。

営業収益



コメント

営業収益は、概ね順調に推移しております。

主な内訳としましては、

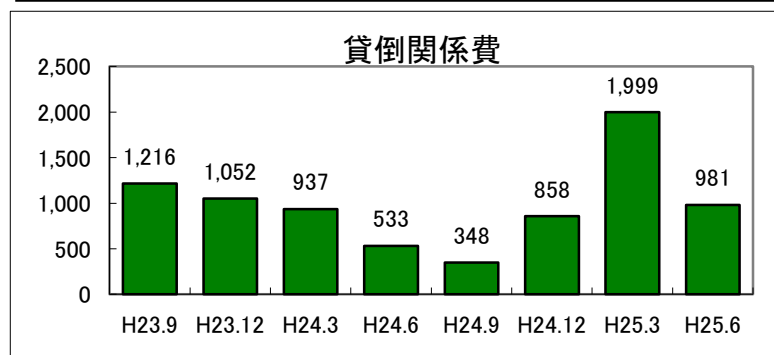
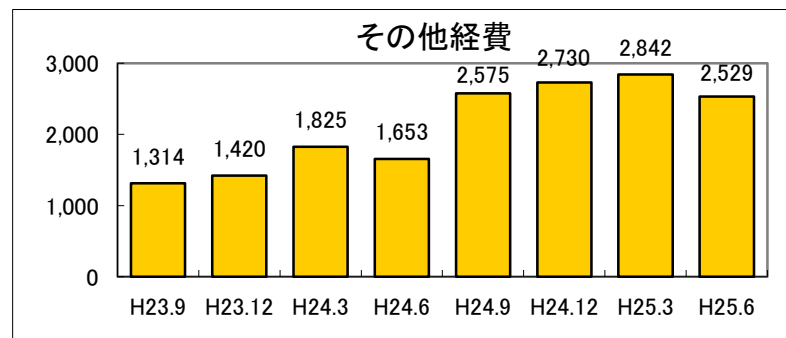
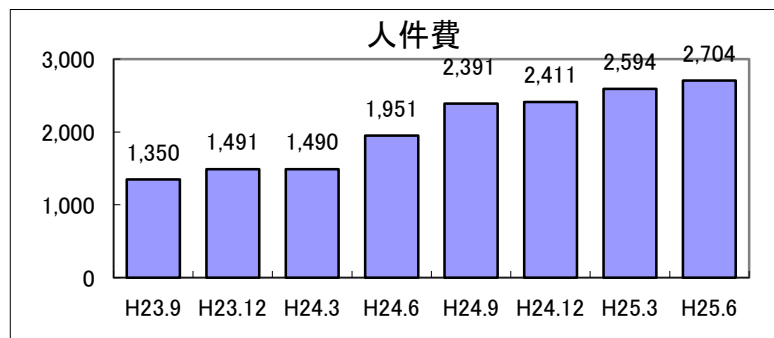
- ①割賦立替手数料については、ショッピング残高はほぼ横ばい、キャッシング残高は減少で推移し、全体として減少傾向にあります。
- ②日本保証において吸収分割により承継した武富士の消費者向け貸付債権からの回収が順調に進んだ結果、貸付金利息、その他の金融収益及び償却債権取立益はほぼ順調に推移しておりましたが、H25.6期はやや低調に推移しました。
- ③H24.9期からアドアーズ、ブレイクの連結子会社化によりアミューズメント関連の売上を計上したことにより増加しております。
- ④銀行業における営業収益は、H25.3期、親愛貯蓄銀行が営業開始し、(株)未来貯蓄銀行から一部資産を承継したことや、(株)ソロモン貯蓄銀行の債権を譲り受けたことにより増加しております。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■販売費及び一般管理費

単位:百万円

	H24.3期				H25.3期					H26.3期
	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12	H25.3	累計	H25.6
人件費	1,350	1,491	1,490	5,261	1,951	2,391	2,411	2,594	9,349	2,704
その他経費	1,314	1,420	1,825	5,312	1,653	2,575	2,730	2,842	9,802	2,529
貸倒関係費	1,216	1,052	937	3,855	533	348	858	1,999	3,740	981
販売費及び一般管理費	3,881	3,965	4,254	14,429	4,138	5,314	6,001	7,437	22,892	6,216



コメント

人件費及びその他経費については、当社グループの事業規模の拡大に伴い、人員が大幅に増加したことや債権買取りやM&Aに係る支払手数料等の増加等の理由により増加しております。

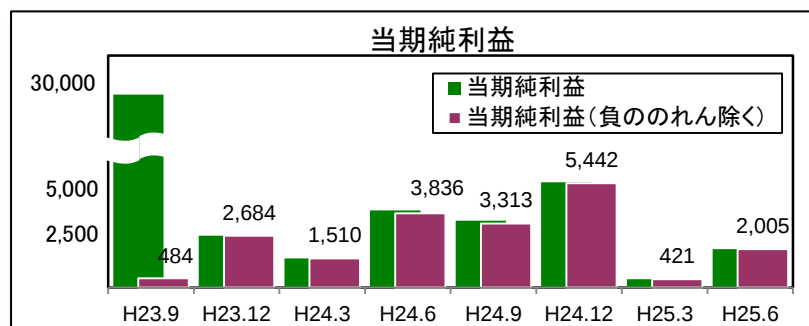
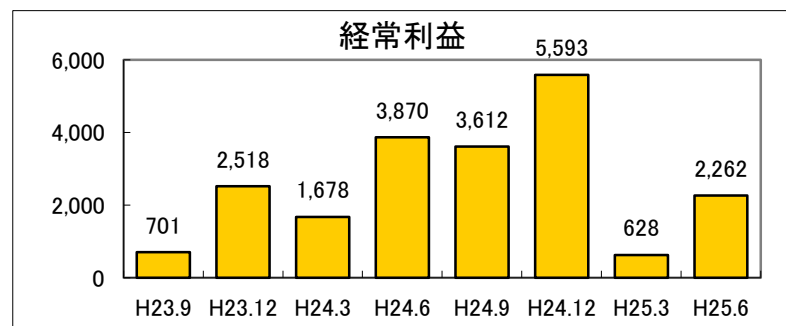
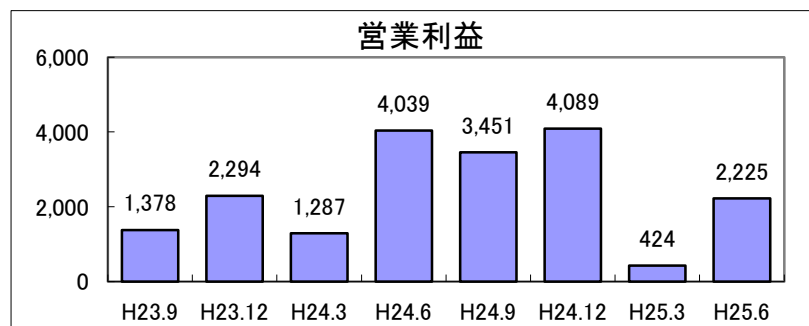
また貸倒関係費については、H23.9期にKCカードの取得による増加以降、対象残高の減少や貸倒実績率の低下等、繰入負担が減少していることに伴い減少しておりましたが、H24.12期に、過払い債権に対して、任意和解による早期和解を促進したことで、増加した和解実績を受けて利息返還損失引当金繰入額を見直したことや、H25.3期に、保証債務残高の増加に見合った債務保証損失引当金を計上したこと、さらにH25.6期に親愛貯蓄銀行において貸倒引当金を積み増したなど、四半期毎に増減しています。

主要な連結経営指標等の推移(四半期毎)

■四半期連結業績

単位:百万円

	H24.3期				H25.3期					H26.3期
	H23.9	H23.12	H24.3	累計	H24.6	H24.9	H24.12	H25.3	累計	H25.6
営業利益	1,378	2,294	1,287	5,539	4,039	3,451	4,089	424	12,005	2,225
経常利益	701	2,518	1,678	5,486	3,870	3,612	5,593	628	13,704	2,262
当期純利益	29,928	2,684	1,510	34,500	3,991	3,453	5,442	421	13,309	2,005
うち負ののれん発生益	29,444	—	—	29,444	155	139	—	—	294	—
〃 除く当期純利益	484	2,684	1,510	5,056	3,836	3,313	5,442	421	13,014	2,005



コメント

営業収益は、アドアーズや親愛貯蓄銀行における事業収益が加算されたことにより前年同期比増加となりましたが、当該事業収益に係る売上原価や、当社グループの事業規模の拡大に伴い販売費及び一般管理費が増加したこと等により、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前年同期比減少しております。

通期では、順調に推移しており、H26.3期においても、親愛貯蓄銀行等による債権買取りやM&Aに係る事業収益や信用保証業務の拡大による保証料収入の増加等により、順調に増加していくものと思われます。

主要な連結経営指標等の推移

■過払金返還請求に伴うキャッシュアウト額等

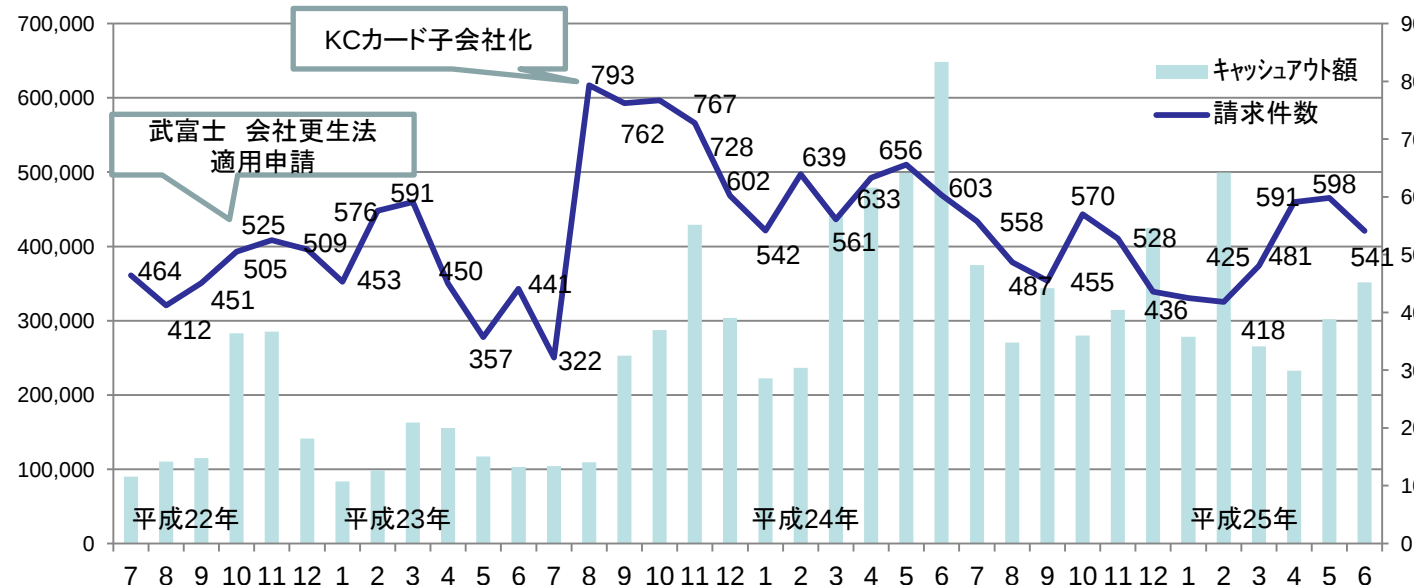
単位: 件、千円

	H22.7	H22.8	H22.9	H22.10	H22.11	H22.12	H23.1	H23.2	H23.3	H23.4	H23.5	H23.6
請求件数	464	412	451	505	525	509	453	576	591	450	357	441
前年同月比	80.5%	79.1%	49.3%	66.7%	6.1%	▲20.7%	6.3%	4.2%	▲2.8%	▲20.1%	▲25.5%	▲15.2%
キャッシュアウト額	90,177	110,043	114,750	283,218	285,182	141,075	83,448	98,702	162,716	155,484	116,941	102,897

	H23.7	H23.8	H23.9	H23.10	H23.11	H23.12	H24.1	H24.2	H24.3	H24.4	H24.5	H24.6
請求件数	322	793	762	767	728	602	542	639	561	633	656	603
前年同月比	▲30.6%	92.5%	69.0%	51.9%	38.7%	18.3%	19.6%	10.9%	▲5.1%	40.7%	83.8%	36.7%
キャッシュアウト額	103,980	109,224	253,017	287,401	429,263	303,902	222,316	236,405	441,019	479,082	498,907	648,290

	H24.7	H24.8	H24.9	H24.10	H24.11	H24.12	H25.1	H25.2	H25.3	H25.4	H25.5	H25.6
請求件数	558	487	455	570	528	436	425	418	481	591	598	541
前年同月比	73.3%	▲38.6%	▲40.3%	▲25.7%	▲27.5%	▲27.6%	▲21.6%	▲34.6%	▲14.3%	▲6.6%	▲8.8%	▲10.3%
キャッシュアウト額	375,019	270,622	343,812	280,099	314,408	424,735	278,221	499,200	265,434	232,533	301,858	351,328

利息返還請求件数及び利息返還金(キャッシュアウト額)の推移



コメント

過払金請求件数については、前年同月比マイナスが続いており、また、H25.6期末は、H24.6期末比で10.3%減少しております。

キャッシュアウト額につきましては、H24.3期以降、早期和解を目的として任意和解を推進したことで一時的に和解件数が増加し、キャッシュアウト額も増加しておりましたが、請求件数が減少しているうえ、返還率(請求金額に対するキャッシュアウト額支払の割合)も高い債権者に対し任意和解を前倒しで推進したため落ち着きを見せております。

平成26年3月期連結業績予想の進捗

平成26年3月期連結業績予想

単位:百万円

	26年3月期第2四半期		26年3月期通期		26年3月期第1四半期		2Q進捗率 (%)	通期進捗率 (%)
	業績予想	百分比 (%)	業績予想	百分比 (%)	実績	百分比 (%)		
営業収益	31,576	100.0	72,620	100.0	14,545	100.0	46.1	20.0
(主な内訳)								
貸付金利息	1,640	5.2	2,920	4.0	892	6.1	54.4	30.5
銀行業における営業収益	4,988	15.8	15,652	21.6	2,431	16.7	48.7	15.5
割賦立替手数料	4,135	13.1	8,304	11.4	2,046	14.1	49.5	24.6
保証料収入	1,259	4.0	2,840	3.9	546	3.8	43.3	19.2
不動産事業売上高	1,922	6.1	4,572	6.3	703	4.8	36.6	15.4
アミューズメント関連売上	8,462	26.8	15,763	21.7	4,222	29.0	49.9	26.8
完成工事高(設計・施工)	1,220	3.9	2,375	3.3	490	3.4	40.2	20.6
償却債権取立益	3,325	10.5	7,507	10.3	1,247	8.6	37.5	16.6
その他の金融収益	1,498	4.7	4,199	5.8	708	4.9	47.3	16.9
営業利益	3,065	9.7	16,103	22.2	2,225	15.3	72.6	13.8
経常利益	3,182	10.1	17,319	23.8	2,262	15.6	71.1	13.1
当期純利益	2,594	8.2	15,030	20.7	2,005	13.8	77.3	13.3

コメント

通期の見通しにつきましては、親愛貯蓄銀行において、平成25年6月に(株)エイチケー貯蓄銀行から譲り受けた貸付債権による収益が第2四半期連結累計期間以降、連結業績に寄与するものと見込んでいるうえ、今後も韓国国内における他の金融機関に対する債権買取りやM&A等により、リテール・ファイナンスを中心とした債権残高の拡大による収益の増加を見込んでいること、さらにはライツ・オフリング(ノンコミットメント型/上場型新株予約権の無償割当て)により調達した資金を、今後の債権買取り及びM&A等の資金等に充当することや、信用保証業務において、提携先金融機関の拡大及び関係強化を着実に進め、債務保証残高を積み上げていくこと等により、さらなる収益の増加を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間の営業成績につきましては、不動産事業売上高や償却債権取立益についてやや低調に推移しておりますが、ほぼ計画通りに推移しており、平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

(参考1)

**平成26年3月期 第1四半期個別決算概要
及び個別業績予想の進捗**

平成26年3月期第1四半期個別決算概要

■業績(累計)の前期比較

単位:百万円

	24年6月 (累計)		25年6月 (累計)		前期 増減	増減率 (%)	主な増減要因
	実績	百分比 (%)	実績	百分比 (%)			
営業収益	808	100.0	2,990	100.0	2,181	269.8	債権買取業務におけるその他の金融収益が1.3億円減少したもの、子会社の業績が順調に推移したことによる子会社からの受取配当金が24.0億円増加したことにより増加
営業費用	261	32.4	240	8.0	▲ 21	▲ 8.3	
営業総利益	546	67.6	2,750	92.0	2,203	402.9	
販管費	280	34.7	368	12.3	88	31.4	ネクストジャパンホールディングスとの合併により、のれん償却額を0.6億円計上したことにより増加
営業利益	266	32.9	2,381	79.6	2,115	794.9	
経常利益	278	34.4	2,235	74.8	1,956	702.8	ライツ・オフリングに係る株式交付費の計上により1.6億円減少したもの、営業利益が21.1億円増加したことにより増加
当期純利益	253	31.3	2,216	74.1	1,962	774.9	

単位:百万円

		26年3月期第2四半期		26年3月期通期		26年3月期第1四半期		2Q進捗率 (%)	通期進捗率 (%)
		業績予想	百分比 (%)	業績予想	百分比 (%)	実績	百分比 (%)		
営業収益		3,166	100.0	5,082	100.0	2,990	100.0	94.4	58.8
(主な内訳)	受取利息	183	5.8	1,093	21.5	98	3.3	53.4	9.0
	受取配当金	2,729	86.2	3,543	69.7	2,734	91.4	100.2	77.2
	その他の金融収益	149	4.7	224	4.4	96	3.2	64.7	43.0
営業利益		702	22.2	1,675	33.0	2,381	79.6	339.0	142.2
経常利益		734	23.2	1,725	33.9	2,235	74.8	304.2	129.6
当期純利益		731	23.1	1,719	33.8	2,216	74.1	302.8	128.9

コメント

当第1四半期累計期間は、ほぼ計画通り推移しております。

連結子会社からの受取配当金による営業収益が第1四半期に集中しているため、2Q進捗率、通期進捗率とも大幅に上回って推移しておりますが、第1四半期以降、ライツ・オフリングに係る諸費用の計上等費用負担の増加が見込まれることから、平成26年3月期の第2四半期累計期間及び通期の個別業績予想につきましては、平成25年5月14日公表の業績予想から変更はありません。

(参考2)

主要な連結子会社の業績の概要

金融事業	 日本保証	株式会社日本保証
		パルティール債権回収株式会社
		西京カード株式会社
		KCカード株式会社
		株式会社クレディア
不動産事業		キーノート株式会社
アミューズメント事業		アドアーズ株式会社
		株式会社ブレイク
海外事業		親愛貯蓄銀行株式会社
		ネオラインクレジット貸付株式会社
その他事業		Jトラストシステム株式会社
		株式会社エーエーディ



商 号 : 株式会社日本保証
 代 表 者 : 代表取締役社長 山元 俊英
 本 社 所 在 地 : 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設 立 年 月 日 : 昭和45年3月17日
 事 業 内 容 : 総合金融業(事業者向け融資 消費者向け融資
 信用保証業務・債権買取業務)
 登 録 : 貸金業登録 近畿財務局長(10)第00101号
 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(1)第8092号
 加 盟 団 体 : 日本貸金業協会会員 第002268号
 JCFA(日本消費者金融協会)、JICC(株)日本信用情報機構)
 決 算 期 : 2月
 資 本 金 : 95百万円
 株 主 構 成 : JTラスト株式会社 100%



Topics

- 平成25年5月 株式会社エクステンジコーポレーションと保証業務提携を開始しました。
- ・エクステンジコーポレーション社が提供する「AQUSH 保証会社不動産担保ローン」にかかる保証業務の取扱いを開始
- 平成25年6月 大阪支店が移転しました。
- 移転先住所：大阪市都島区東野田町二丁目8番8号
- 平成25年7月 本店(登記上)移転を行いました。なお、本社所在地の変更はありません。
- 本店新住所：大阪市都島区東野田町二丁目8番8号

P/L(累計)

単位: 百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	4,244	2,833	▲1,410
営業利益	1,811	998	▲813

- ・日本保証の決算月は2月末であり、重要な取引について連結上必要な調整を行っております。
- ・H24.6の営業収益、営業利益とも、旧ロプロ、旧日本保証の単純合算で比較しています。



商 号 : パルティール債権回収株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 上村 憲生
 本店所在地 : 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設 立 年 月 日 : 平成19年8月23日
 事 業 内 容 : サービス業務
 (特定金銭債権の買取、債権管理、回収、管理・回収受託)
 登 録 : 債権管理回収業 法務大臣 第113号
 宅地建物取引業者免許 東京都知事(1)第92180号
 加 盟 団 体 : 全国サービス協会
 東京都宅地建物取引業協会
 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 5億円
 株 主 構 成 : Jトラスト株式会社 100%



同社HP

P/L(累計)

単位: 百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	323	297	▲25
営業利益	31	21	▲10



商 号：西京カード株式会社
 代 表 者：代表取締役社長 秋山 文彦
 本 店 所 在 地：山口県周南市銀南街4番地 ウエスト92ビル4F
 設 立 年 月 日：平成6年4月12日
 事 業 内 容：個別信用購入あっせん業務 融資業務
 登 録：貸金業登録 中国財務局長(7)第00101号
 個別信用購入あっせん登録 中国(個)第8号
 加 盟 団 体：日本貸金業協会会員 第002603号
 決 算 期：3月
 資 本 金：60百万円
 株 主 構 成：Jトラスト株式会社 80%
 株式会社西京銀行 20%
 母 体 金 融 機 関：株式会社西京銀行



P/L(累計)

単位:百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	83	72	▲11
営業利益	1	4	2



商 号 : KCカード株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 安藤 聡
 本 店 所 在 地 : 福岡市博多区博多駅前三丁目4番2号
 設 立 年 月 日 : 昭和38年4月26日
 事 業 内 容 : クレジット、カードローン、信用保証業務、不動産業務他
 登 録 : 包括信用購入あっせん業者登録 九州(包)第30号
 個別信用購入あっせん業者登録 九州(個)第14号
 貸金業登録 福岡財務支局長(10)第00030号
 第三者型前払式支払手段発行者登録 福岡財務支局長第00088号
 加 盟 団 体 : 日本貸金業協会会員 第002328号
 決 算 期 : 12月
 資 本 金 : 30億55百万円
 株 主 構 成 : Jトラスト株式会社 97.76%(議決権割合)
 一般株主 2.24%

Topics

- 平成25年4月 KCカードは会社設立50周年を迎えました。
- 平成25年5月 『Amazonギフト券』へのポイント交換サービスを開始いたしました。
・「点でうれしいプレゼントポイント」を『Amazonギフト券』に交換できるサービスを開始
- 平成25年6月 カードローン「KCマネーカード」をリニューアルいたしました。
・平成25年6月27日以降の新規入会者を対象に金利設定、ご利用可能枠の上限を変更
- 平成25年7月 FC岐阜Official/KC Cardを発行いたしました。
・J2所属「FC岐阜」オフィシャルクレジットカードの発行



同社HP

P/L(累計)

単位: 百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	3,321	2,535	▲785
営業利益	1,899	1,295	▲604



商号：株式会社クレディア
 代表者：代表取締役社長 佐藤 友彦
 本店所在地：静岡県静岡市駿河区南町10番5号
 設立年月日：平成20年7月8日
 事業内容：個人向けローン業務・事業者向けローン業務・信用保証業務・その他業務
 登録：貸金業登録 東海財務局長(2)第00165号
 宅地建物取引業者免許 静岡県知事(1)第13120号
 加盟団体：日本貸金業協会会員 第005408号
 決算期：3月
 資本金：3億円(平成25年6月30日現在)
 株主構成：Jトラスト株式会社 100%



同社HP

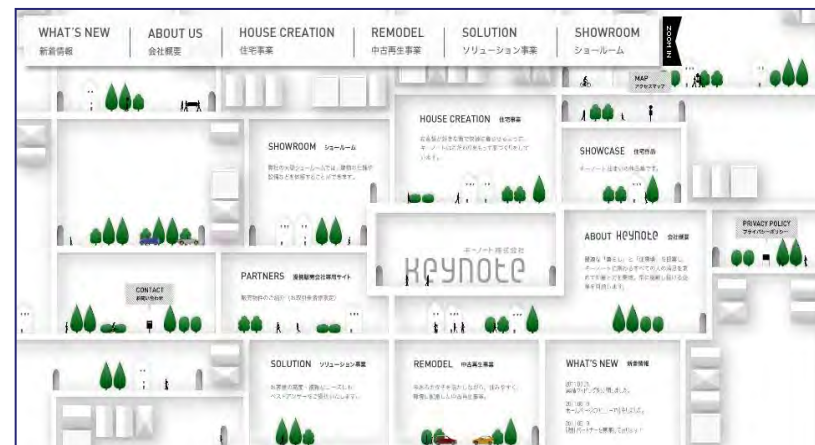
P/L(累計)

単位: 百万円

	H25.6
営業収益	317
営業利益	▲17

※クレディアは、前第2四半期からPL連結対象としているため、前期比較をしておりません。

KEYNOTE



同社HP

商 号 : キーノート株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 橋本 泰
 本店所在地 : 東京都目黒区東山一丁目6-2 メイコービル6F
 設立年月日 : 平成8年7月10日
 事業内容 : 不動産売買業(一戸建住宅及びマンションの開発分譲)
 中古住宅再生事業(中古住宅を仕入れ、リノベーションして販売する業態)
 不動産仲介業
 コンサルティング事業
 建築事業(主にパチンコ遊技場他各種商業施設の開発・設計・施工事業)
 登 録 : 宅地建物取引業者免許 国土交通大臣(1)第7845号
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第55909号
 特定建設業 東京都知事 許可(特-22)第135078号
 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 3,000万円
 株 主 構 成 : アドアーズ株式会社(Jトラスト株式会社 42.91%保有) 100%

Topics

平成25年3月 アドアーズ(株)を完全親会社、キーノート(株)及び(株)ブレイクを完全子会社とする株式交換により、キーノート(株)は、アドアーズ(株)の連結子会社となりました。

平成25年6月 当社グループの組織効率化に向けた事業再編を行いました。
 ・アドアーズ(株)の建築部門を廃止し、キーノート(株)にて当該事業を新たに開始

P/L(累計)

単位:百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	1,090	509	▲581
営業利益	35	16	▲18



商号：アドアーズ株式会社(証券コード 4712:JASDAQスタンダード上場)
代表者：代表取締役会長 藤澤 信義
本店所在地：東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
設立年月日：昭和39年2月11日(創業) 昭和42年12月25日(設立)
事業内容：アミューズメント施設の運営、企画
遊戯機器及び遊戯機器・部品のレンタル、修理及び保守管理業務
登録：建設業 東京都知事許可(特-22)第113930号
宅地建物取引業者免許 東京都知事許可(3)第79136号
風俗8号営業法
決算期：3月
資本金：44億5百万円
株主構成：Jトラスト株式会社 42.91%
GF投資ファンド投資事業有限責任組合 29.44%
その他 27.65%



同社HP

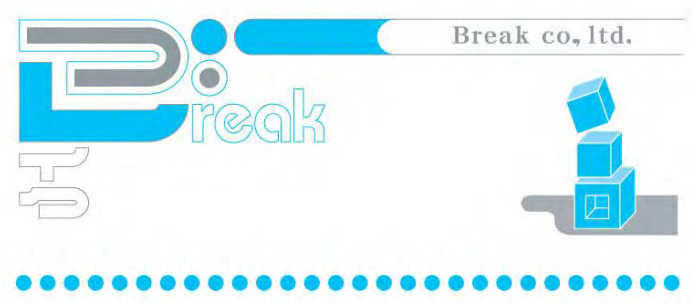
P/L(累計) 単位:百万円

	H25.6
営業収益	4,524
営業利益	270

※アドアーズは、前第2四半期からPL連結対象と
しているため、前期比較をしております。

Topics

- 平成25年3月 アドアーズ(株)を完全親会社、キーノート(株)及び(株)ブレイクを
完全子会社とする株式交換により、キーノート(株)及び(株)ブレイクを
連結子会社としました。
- 平成25年6月 当社グループの組織効率化に向けた事業再編を行いました。
・アドアーズ(株)の建築部門を廃止し、キーノート(株)にて当該事業を新たに開始



商号：株式会社ブレイク
代表者：代表取締役社長 根津 孝規
本店所在地：東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
設立年月日：平成19年2月1日
事業内容：アミューズメント機器用景品の企画・製作・販売及び
アミューズメント施設の運営及びコンサルティング等
決算期：3月
資本金：7,500万円
株主構成：アドアーズ株式会社（Jトラスト株式会社 42.91%保有） 100%

Topics

平成25年3月 アドアーズ(株)を完全親会社、キーノート(株)及び(株)ブレイクを完全子会社とする株式交換により、(株)ブレイクは、アドアーズ(株)の連結子会社となりました。



同社HP

P/L(累計) 単位: 百万円

	H25.6
営業収益	608
営業利益	9

※ブレイクは、前第2四半期からPL連結対象としているため、前期比較をしておりません。



商号 親愛貯蓄銀行株式会社
代表者 代表理事 ユン・ビョンムク
本店所在地 ソウル特別市江南区 テヘラン路317
設立年月日 平成24年8月13日
事業内容 貯蓄銀行業
登録 事業者登録 120-87-86754
加盟団体 貯蓄銀行中央会
決算期 6月
資本金の額 639億ウォン
株主構成 KCカード株式会社 100%
(Jトラスト株式会社 97.76%保有)

Topics

- 平成24年10月 (株)未来貯蓄銀行から、資産・負債を引き継ぎ、営業を開始。
- 平成25年 1月 (株)ソロモン貯蓄銀行から貸付債権を譲受け。
譲受債権額 約3,730億ウォン(約299億円、1ウォン=約0.0802円で算出)
- 平成25年 6月 (株)エイチケー貯蓄銀行から貸付債権を譲受け。
譲受債権額 約1,735億ウォン(約153億円、1ウォン=約0.0883円で算出)

同社HP

P/L(累計) 単位: 百万円

	H25..6
営業収益	2,431
営業利益	▲80

※1ウォン≒0.08347円で換算しております。
親愛貯蓄銀行は、3月の財務諸表に4~6月の重要な取引について連結上必要な調整を行っております。
なお、調整額については、1ウォン≒0.08703円で換算しております。
※親愛貯蓄銀行は、前第3四半期からPL連結対象としているため、前期比較をしておりません。

 このシンボルマークは、
Savings bank that warms your heart を表現しております。
「お客様への心温まる対応」そして
「お客様の感動が私たちの喜び」を、
マークに込めております。



商 号 : ネオラインクレジット貸付株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 渡辺 高史
 本 店 所 在 地 : ソウル特別市江南区テヘラン路420 HLMCビル12階
 設 立 年 月 日 : 平成21年10月26日
 事 業 内 容 : 消費者金融業務
 登 録 : 貸付業登録、通信販売業登録
 外 国 人 投 資 企 業 登 録
 加 盟 団 体 : 韓国貸付金融協会 A00134
 決 算 期 : 9月
 資 本 金 : 130億ウォン
 株 主 構 成 : JTラスト株式会社 100%



同社HP

P/L(累計)

単位: 百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	420	256	▲164
営業利益	60	64	4

※ H24.6期は1ウォン≒0.06974円で、H25.6 期は 1ウォン≒0.08703円で換算しております。



同社HP

商 号 : JTラストシステム株式会社
 代 表 者 : 代表取締役社長 家田 孝
 本店所在地 : 東京都港区虎ノ門一丁目7番12号
 設立年月日 : 平成21年5月27日
 事 業 内 容 : コンピューターによる企業経営全般に関する
 計算事務の代行及び経営管理指導、
 コンピューターの運用及び管理業務の請負、
 コンピューターのソフトウェア受託開発及び運用指導
 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 8,000万円
 株 主 構 成 : JTラスト株式会社 100%

P/L(累計)

単位:百万円

	H24.6	H25.6	前期増減
営業収益	205	209	3
営業利益	1	▲24	▲25



商 号 : 株式会社エーエーディ
 代 表 者 : 代表取締役社長 坂本 英司
 本 店 所 在 地 : 東京都中央区東日本橋2丁目16-4 NSビル3F
 創 業 年 月 日 : 昭和32年7月1日
 事 業 内 容 : 広告宣伝 及び 広告代理業
 イベントの企画・制作 及び 運営
 ウェブサイトの企画・立案 及び 制作
 スマートフォン・iPhone・iPad販売 及び アプリ等企画・立案 及び 制作
 ポスター・カタログ等の商業印刷全般
 CF・PV等の撮影・編集 及び DVD・CD等の企画・制作
 デジタルサイネージ企画・制作・運営
 営業管理コンサルティング

 決 算 期 : 3月
 資 本 金 : 3,000万円
 株 主 構 成 : Jトラスト株式会社 100%
 資 格 認 証 : FSC®森林認証制度(FSC® C092617)
 ISO27001認証(ISO 98440)



同社HP

P/L(累計)

単位: 百万円

	H25.6
営業収益	203
営業利益	7

※エーエーディは、前第2四半期からPL連結対象としているため、前期比較をしております。

- 本資料は、当社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資を勧誘する目的としたものではありません。
- 本資料は、正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の予測や情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料に記載された意見や予測等の情報は、本資料作成時点の当社の判断によるものであり、潜在的リスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績及び記載されている将来見通しとは乖離が生じることがありますのでご承知ください。

【 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先 】

Jトラスト株式会社 広報・IR部

TEL (03) 4330-9100

[URL:http://www.jt-corp.co.jp/](http://www.jt-corp.co.jp/)